

健康福祉審議会	2026/3/17	資料 2 - 1
第 9 回スポーツ・健康づくり部会		

中野区基本計画（令和 8 年度～令和 1 2 年度）改定を踏まえた今後の スポーツ・健康づくり推進について

中野区は、2021 年に中野区基本構想を改定した。区は、基本構想で描く 10 年後に目指すまちの姿を実現するため、2021 年 9 月に中野区基本計画（以下「現基本計画」という。）を策定し、これを受けて健康福祉総合推進計画及びスポーツ・健康づくり推進計画その他の計画を改定し、取組を進めてきた。

現基本計画の計画期間が 2025 年度に終了することに伴い、その後の 5 年間における区政運営を着実に推進し、基本構想の実現につなげていくため、新たな中野区基本計画（以下「基本計画」という。）を策定したところである。

このことを踏まえ、来年度、スポーツ・健康づくり推進計画の改定をしていくにあたって、現状と今後の方向性を取りまとめたので、報告する。

1 基本計画における関連箇所の内容（詳細別紙）

(1) スポーツに関すること

- ①施策 1 4 「子どもたちの「生きる力」を育む教育の充実」
- ②施策 1 6 「特色ある学校づくりと家庭・地域との協働による学校運営の推進」
- ③施策 3 4 「誰もが身近に運動・スポーツ活動に取り組める環境づくり」

(2) 健康づくり・食育に関すること

- ①施策 3 5 「健康的な生活習慣が身につく環境づくり」

2 現状と課題

(1) スポーツに関すること

①施策 1 4、1 6

中学校の部活動は、団体競技でチーム編成が難しいことや、専門的な指導ができる教員が不足しているため、部活動の維持が困難になっている。

②施策 3 4

- ・区のスポーツ施設の利用人数は増加しているが、運動習慣の定着に向けたさらなる取組が必要。また、学校の統廃合により、学校開放の総開放日数は減少しており、身近なスポーツの場が減少している。
- ・スポーツ実施率は全体的に上昇しているものの、20 歳代以下及び 60 歳代は他の年代に比べて、低い傾向にある。生涯にわたる運動習慣定着のためには、若年層の運動機会の定着、向上に取り組む必要がある。
- ・障害者の外出の主な目的における趣味・スポーツの割合は上がっており、障害者事業への参加状況は向上傾向にある。

(2) 健康づくり・食育に関すること

①施策35

- ・高齢期における健康状態は、長年にわたる生活習慣の積み重ねによって形成されるため、ライフステージに応じた取組を進めるとともに、健康無関心層への働きかけが必要。
- ・乳幼児から高齢者に至るまで、ライフステージやライフスタイル、多様な暮らしに対応した切れ目ない、生涯を通じた食育を推進する必要がある。また、歯と口の健康づくりに取り組む必要がある。
- ・区民が健康課題を的確に把握するための健診と疾病の早期発見・早期治療を図るための検診の受診率を向上させることが重要。

3 今後の方向性

(1) スポーツに関すること

- ①区民が身近な場所で運動・スポーツ活動を行うことができる機会・環境を整えとともに、運動・スポーツを通じた区民同士の交流や地域コミュニティの形成を進める。
- ②様々なスポーツに関係する団体・事業者と協働・連携しながら、区民・スポーツ関係者の自発的な運動・スポーツ活動を推進するとともに、健康づくりや障害者スポーツの普及を進める。
- ③子どもの運動習慣の定着や、健康の維持、体力の向上等に向けた取組を進め、運動習慣の形成を図る。

(2) 健康づくり・食育に関すること

- ①栄養・運動・休養の調和がとれた健康的な生活習慣の定着に向けて、区民一人ひとりの自律的かつ継続的な健康づくりを進める。
- ②疾病の予防や早期発見・早期治療を促進するため、各種データの収集・分析等に基づく健康づくりを進めます。